

## イメージ宣伝に力を注ぐ

当園區のイメージを広く宣伝して投資を呼び込むために、当局では毎年中、英、日文のパンフレット及びDVDを作成して訪問者に配布している。それらには園區の地理的位置、生活ガイドマップ、学術研究機構、産業集積、優遇措置、投資申請および工場設置の方法などが明示されている。

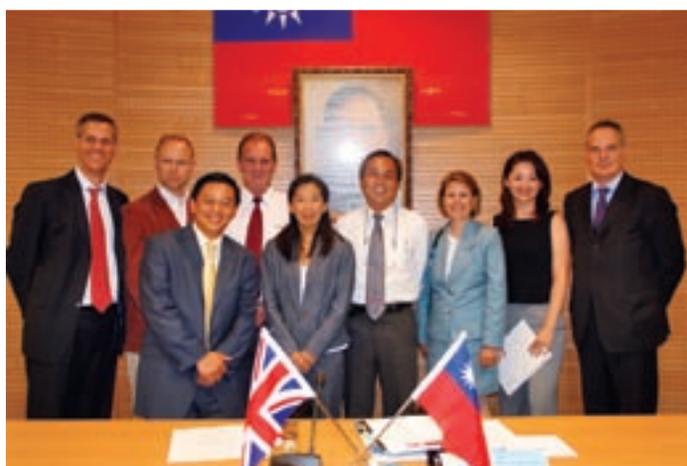
園區の投資環境を宣伝するために、内外の平面メディア、例えば China Post、Taiwan Journal、Taiwan Business Topics、工商時報、經濟日報、卓越雜誌などによる園區のイメージ、産業、生活機能にかかわる報道を支援した。「テレビメディア宣伝案」を作成し、民視、東森、台視、中天といったテレビ局を通じて、園區の消息を逐次報道し、企業投資および人材の呼び込みに取り組んだ。

## 情熱的な賓客接待

2007年度接待した訪問客は計198団体6,530人にのぼった。内外投資者、社団、学生団体、外交部がアレンジした海外要人・新聞局アレンジの海外メディアなどで、内外の賓客に南科の発展現況を理解していただき、訪問してきた学校団体には将来ハイテク産業への就職を勧めた。投資者にはその必要に応じて園區の環境を紹介する。



米国衆議院エネルギー商業委員会G. K. Butterfield主席が南部科学工業園區を訪問し、現況を視察(5月31日)



欧州開発銀行共同資金部部長 Mr. Gary Bond(左四)率いる代表団が南部科学工業園區を訪問し、これを機に双方の業務内容を理解し、そして将来に双方の提携できる方向について検討(9月28日)



カナダ首席国家科学顧問Dr. Carty(中)が我国駐カナダ李大維代表の案内で南部科学工業園區を参観。そしてカナダのハイテク発展の現状と成果を報告し、台湾とのビジネス協力関係を強化したいと希望している。特にハイテクと技術革新に関する分野である。(11月15日)